20221221

**のグループホームでのカップルに**

**ちゃんができないようにしたからかんがえた、**

**のや、どもをみてるについて、いたいこと**

（やさしいことば：のあすなろにおける「」からる、

のとにするとについての）

わたしたちは、があってもあたりまえにでくらしていけるようにしているです。

だれもがされないように、みんなできるをめざしています。

でわれているなことを、でできるようにしたいとっています。

20221218に、の「あすなろ」がやっているグループホームで、があるカップルがいっしょにらしたいとったとき、ちゃんができないにするようにわれていた、ニュースがありました。

これは20よりもっとからのまりになっていました。

これまで８（１６）が、ちゃんができなくさせられていました。

このニュースをいて、の（）は、

「をしたいとっているが、のぞんでいないのに、ちゃんができなくなるようにするは、だめなことです」といました。

も、に、のことかどうかいてべているので、だんだんとくわしいことがわかってくるでしょう。

では、のをまもる（のや）にあわせて、のためのいろいろな（など）をもっとちゃんとろうとしています。

いま、になっているグループホームは、の（）にわせてつくられたサービスのひとつです。

ひとりひとりがにされるためのサービスなのに、のをふみにじるがきたので、わたしたちは、とてもおこっています。

また、わたしたちにとって、あたりまえのが、もっとうばわれるんじゃないかとうと、とてもこわいちになります。

むかし、というで、ちゃんができないにさせられたが、いまでさいばんをこしています。

いまは、そのがないのに、むかしのように、ちゃんができなくなるようにされているなんて、とてもがっかりします。

わたしたちには、えたいことが４つあります。

1. **だれもが、どもをもつ・もたない、どちらのもあります。**

**わたしたちは、それをどうしたいかをえらぶもあります。**

たちには、どもをんでもいいし、まなくてもいい。それをめるがあります。

についてのは、のが、あたりまえのだとっています。

でも、まだでは、あたりまえになっていません。

のでも、があるから、というでしてはいけない、とめられています。

（23）では、のようにっています。

・をろうとめ、してをることは、あたりまえのです。

・のどもをもってもいいし、おきにどもをむか、でめることができます。

だから、のやについて、にったように、ちゃんとえてもらうこともです。

　・でも、ほかのたちとじように、どもをむをもったままでいることができます。

パートナーをもつ・もたない、どもをもつ・もたない、どちらのもあります。

そして、わたしたちには、それをぶもあります。なんどもいたいことです。

1. **わたしたちのについて、のことをかくさないで、なんでもえてほしいです。**

**のちを、みんなにわかってもらえるように、サポートがなもいます。**

　では、についてのを、はずかしいこと、だめなことだとえられていて、でわたしたちはちゃんとえられてきませんでした。

　ゆっくりとていねいにえてほしいなことなのに、にえてもらっていません。

をけていないのに、「ふにんしょち」というが、ちゃんができなくなってしまうことだとがっていたといえるでしょうか。のをしっかりわかって、どもをもつ、もたないことをべたでしょうか。

が、のです。

なんでもかくさずに、わかるまでについてること・えてもらうことがです。

ひとりでは、めることやめたことをえることがむずかしいには、だれかのサポートがです。

になっているグループホームのは、ちゃんができなくなることをしたし、あなたは「わかりました。そうします」とった、としています。

でも、について、について、ちをたしかめるサポートもないのに、グループホームのがそんなことをっても、してみとめられません。

**３．けてほしいときに、けてもらえるになってほしいです。**

　ては、どんなでも、だけではなく、いろいろなたちからサポートをけてするものです。てだけじゃなく、どんなことでもそうです。

いろいろなやサービスをいながら、どもをみてているたちも、にいます。けてくれるもたくさんいます。

にできているをにしながら、はまだできていないところを、ちゃんとしてください。

があってもなくても、みんな、なサポートをけることができれば、らしくきられるとなります。

**４．だれにでも、のなかに、しそうなち（）があるとって、**

**みんなで、ののなかのしそうなちと、たたかっていきましょう。**

は、「についてできないだろう」「をもってどもをてられないだろう」「がしたらどもがかわいそう」とわれることが、よくあります。

わたしも、あなたも、どんなであっても、づかないうちに、のにをするち（）があるのだと、っておくことがです。

「は、いないほうがいい」「は、いろいろなことができない」というえは、ひとつのものさしだけでたちをけたり、をしたりすることとおなじです。

できる・できない、というひとつのえだけで、をいい・わるいとけることはできません。

いろいろなたちが、みんないっしょにきるは、にりないものやをえるためのアイデアをしえるから、べるものごとがえます。それは、だれもはずれにしないいになるから、とてもなことなのです。

やとはか、わたしたちひとりひとりがえていくことがです。

そうして、のなかにあるとたたかうことがです。

わたしたちは、がまるです。

とたたかっているすべてのたちのをにし、みんなのがにされるになるように、わたしたちはをあげ、つながっていきます。

（ここまで）